

# 平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況 (連結)

平成 16 年 1 月 30 日

上場会社名 日本農産工業株式会社

(コード番号: 2051 東証・大証 第一部)

(URL <http://www.nosan.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 三好 正俊

問合せ先責任者 経理部長 富沢 健

(TEL: (045) 224 3703)

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度に

おける認識の方法との相違の有無 : 有

- ・ 法人税等の処理・・・法定実効税率をベースとした簡便な方法によっています。
- ・ その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便的な手続きを用いています。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

## 2. 平成 16 年 3 月期第 3 四半期の業績概況 (平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 15 年 12 月 31 日)

### (1) 経営成績 (連結) の進捗状況

(注) 金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16 年 3 月期第 3 四半期	82,986	( )	1,827	( )	1,525	( )	924	( )
15 年 3 月期第 3 四半期	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
(参考)15 年 3 月期	113,134		2,039		2,179		1,157	

	1 株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
16 年 3 月期第 3 四半期	7	48	7	48
15 年 3 月期第 3 四半期				
(参考)15 年 3 月期	9	00		

(注) 当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率については記載していません。

### [ 経営成績 (連結) の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当連結第 3 四半期までのわが国経済は、輸出や設備投資が景気の牽引役を果たしてきたことなどから、緩やかに回復しつつありますが、一方で回復の兆しが見えない個人消費の影響により、消費者物価は下落基調での推移が見込まれるなど、経営環境は依然として厳しい状況にあります。

飼料・食品業界においては、長引く消費低迷と冷夏に加え、鶏卵の生産増加や BSE 代替需要の反動などから畜産物相場が歴史的安値で推移したため、農場子会社や持分法適用会社を中心にその影響を大きく受ける結果となりました。

事業別状況は以下のとおりです。

#### 【飼料事業】

畜産物市況が大きく下落して推移するなか、生産者サイドでの競争は益々激しく、飼料業界においても厳しい状況が続いています。このような情勢の下、畜産飼料の全国需要は前年並みで推移しましたが、当社グループにおいては北海道における事業再構築が軌道に乗ったことや、新製品を中心として積極的な拡販に努めた結果、販売数量は前年同期比 103% となりました。

水産飼料においては、うなぎ用・ぶり用を主体とした拡販が順調に推移し、前年同期比 109% と大幅に伸長しました。また、魚粉を中心とする原料は比較的安定的に推移しており、収益面でも増益となりました。

#### 【食品事業】

鶏卵農場子会社は、あらゆるコストの削減に努めていますが、戦後最低の低卵価の影響を大きく受け、食品事業の収益を圧迫する要因となりました。一方、ヨード卵等においては、消費者の安全・安心志向に応えるべく生産面の品質基準のさらなる強化を図りましたが、販売数量は前年同期を下回る結果となりました。なお、業務用ヨード卵については大手レストランチェーンなどへの拡販が着実に伸長しています。

**【ライフテック事業】**

ペットフードは、販売数量が前年同期をやや下回りましたが、コストの削減、ウェット製品の伸長が収益向上に貢献してきています。また、新しい芽として動物病院向けフードは新たに腎不全用を追加した療食食が順調に伸長しています。

バイオ新分野においては、マイクロソームの販売などの ADME/Tox（薬物動態）、タンパク発現、生殖医療などが好調に推移しています。このうち、タンパク発現の今後の受託拡大に備えて、このたび、バイオ研究所横浜ラボの開設を決定しました。これにより、タンパク発現および DNA 免疫による抗体の作製の能力拡大を図り、より高品質で独創性のあるサービスを提供することで収益の拡大を目指します。

以上の結果、11月10日発表（中間連結決算短信）の通期連結業績予想に対する進捗状況は以下のとおりです。

- ・売上高 829 億円（進捗率 75.4%）
- ・経常利益 15 億 25 百万円（同 63.5%）
- ・四半期純利益 9 億 24 百万円（同 71.1%）

**(2) 財政状態（連結）の変動状況**

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年3月期第3四半期	60,776	19,089	31.4	154 85
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	58,358	18,160	31.1	146 67

**【連結キャッシュ・フローの状況】**

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	1,567	300	2,834	405
15年3月期第3四半期				
(参考)15年3月期	4,228	1,596	1,839	1,973

**[ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]**

総資産は平成 15 年 3 月末と比較して 2,418 百万円増加し、株主資本が 928 百万円増加した結果、株主資本比率は 0.3%改善しました。

増減の主なものは、資産では現金及び預金が 1,567 百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金は当第 3 四半期末が休日等の影響により 4,223 百万円の増加、投資有価証券は上場株式の株価回復等で 454 百万円増加しました。負債では支払手形及び買掛金が 3,791 百万円増加しましたが、長短借入金が 2,035 百万円減少しました。

**( 連結キャッシュ・フロー )**

**営業活動によるキャッシュ・フロー**

税金等調整前第 3 四半期純利益 1,781 百万円及び減価償却費 1,775 百万円、売上債権及びその他流動資産の増加 5,051 百万円、仕入債務の増加 3,791 百万円、法人税等の支払 595 百万円などがあったことにより、1,567 百万円の増加となりました。

**投資活動によるキャッシュ・フロー**

固定資産の取得による支出 1,227 百万円の一方で、固定資産の売却による収入 522 百万円、投資有価証券等の売却による収入 326 百万円などにより 300 百万円の減少となりました。

**財務活動によるキャッシュ・フロー**

借入金の返済 2,028 百万円及び配当金の支払 497 百万円などにより、2,834 百万円の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結第 3 四半期末残高は 405 百万円となり、前期末に比べ 1,567 百万円の減少となりました。

**3 . 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）**

業績予想の変更はありません。

**[ 業績予想に関する定性的情報等 ]**

当社グループを取り巻く経営環境は第 3 四半期までと同様、厳しい状況が続くものと予想されます。そのようななか、畜産飼料は 1 月以降の原料情勢を踏まえ価格改定（値上げ）を実施しました。また、年明け後も反転の気配がない低卵価に加え、米国での初の BSE 感染牛、さらには国内で鳥インフルエンザの発生が確認されるなど、飼料・食品業界への影響は不透明なところがありますが、既に発表済みの通期連結業績予想の達成に向け積極的な経営を推し進めてまいります。よって、通期業績予想は、連結、単体とも据え置きます。

## 四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

資 産 の 部	当第3四半期 (15.12.31)		前 期 末 (15.3.31)		負 債 ・ 資 本 の 部	当第3四半期 (15.12.31)		前 期 末 (15.3.31)	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)
I 流 動 資 産	30,350	49.9	27,806	47.7	I 流 動 負 債	32,957	54.2	33,040	56.6
現金及び預金	405		1,973		支払手形及び買掛金	14,838		11,047	
受取手形及び売掛金	21,200		16,976		短期借入金	12,963		16,403	
たな卸資産	5,312		5,827		そ の 他	5,155		5,589	
そ の 他	3,636		3,254		II 固 定 負 債	8,729	14.4	7,157	12.3
貸倒引当金	△ 204		△ 225		長期借入金	5,781		4,377	
II 固 定 資 産	30,426	50.1	30,551	52.3	退職給付引当金	2,098		2,347	
1 有 形 固 定 資 産	21,386	35.2	22,020	37.7	そ の 他	849		432	
建物及び構築物	8,652		9,032		負 債 合 計	41,686	68.6	40,197	68.9
機械装置及び運搬具	6,417		6,891		少 数 株 主 持 分	—	—	—	—
土 地	5,274		5,415		I 資 本 金	7,411	12.2	7,411	12.7
そ の 他	1,041		681		II 資 本 剰 余 金	2,731	4.5	2,731	4.7
2 無 形 固 定 資 産	170	0.3	138	0.2	III 利 益 剰 余 金	9,167	15.1	8,760	15.0
3 投 資 そ の 他 の 資 産	8,869	14.6	8,392	14.4	IV そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	797	1.3	200	0.3
投資有価証券	6,189		5,734		V 自 己 株 式	△ 1,019	△ 1.7	△ 944	△ 1.6
そ の 他	2,814		2,795		資 本 合 計	19,089	31.4	18,160	31.1
貸倒引当金	△ 134		△ 137		負 債 ・ 少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	60,776	100.0	58,358	100.0
資 産 合 計	60,776	100.0	58,358	100.0					

## 四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期 自 15. 4. 1 至 15.12.31		前 期 自 14. 4. 1 至 15. 3.31	
	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	82,986	100.0	113,134	100.0
売 上 原 価	70,364	84.8	95,583	84.5
( 売 上 総 利 益 )	( 12,622 )	15.2	( 17,550 )	15.5
販売費及び一般管理費	10,795	13.0	15,511	13.7
営 業 利 益	1,827	2.2	2,039	1.8
営 業 外 収 益	228	0.2	579	0.5
受取利息及び配当金	102		103	
そ の 他	126		475	
営 業 外 費 用	530	0.6	439	0.4
支 払 利 息	235		284	
そ の 他	294		155	
経 常 利 益	1,525	1.8	2,179	1.9
特 別 利 益	389	0.5	435	0.4
固 定 資 産 売 却 益	377		423	
そ の 他	12		12	
特 別 損 失	133	0.2	1,415	1.3
固 定 資 産 売 却 損	92		500	
そ の 他	40		914	
税金等調整前第3四半期 ( 当 期 ) 純 利 益	1,781	2.1	1,199	1.0
法人税、住民税及び事業税	850	1.0	42	0.0
少 数 株 主 利 益	6	0.0	-	-
第 3 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	924	1.1	1,157	1.0

(注) 第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税等調整額」は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

## 四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当第3四半期	前 期
	自 15. 4. 1 至 15. 12.31	自 14. 4. 1 至 15. 3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前第3四半期(当期)純利益	1,781	1,199
2. 税引前利益の調整		
減価償却費	1,775	2,400
引当金の減少	253	363
その他の増減	547	712
3. 資産及び負債の増減		
売上債権の増減	4,235	3,553
棚卸資産の減少	496	252
その他の流動資産の増減	815	182
仕入債務の増減	3,791	3,416
その他の流動負債の増加	170	724
4. 法人税等の支払額	595	1,018
合 計	1,567	4,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 固定資産の取得	1,227	2,494
2. 固定資産の売却	522	790
3. 投資有価証券等の増減	326	441
4. 貸付金の減少	109	45
5. その他投資等の増減	32	503
合 計	300	1,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の減少	3,820	580
2. 長期借入金の実行	3,099	1,600
3. 長期借入金の返済	1,307	1,465
4. 配当金の支払	497	320
5. 自己株式の取得	75	803
6. その他	233	270
合 計	2,834	1,839
現金及び現金同等物の増減額	1,567	792
現金及び現金同等物の期首残高	1,973	1,181
現金及び現金同等物の第3四半期(期末)残高	405	1,973